

浦賀文化

平成20(2008)年10月1日

第16号

Email:uragabunka@yahoo.co.jp

編集・発行:横須賀市浦賀コミュニティセンター分館(浦賀文化センター) 〒239-0822 横須賀市浦賀 7-2-1 TEL&FAX 046-842-4121

自然の恵みに感謝

「天女水の碑」

湧き出る清水で潤った土地に、「天女が授けてくれたよ
うな水」として、その恵みに感謝をこめて、また、自然の大
切さを伝えるために建てたのが、「天女水の碑」、地元の人
たちは「弁天様の碑」ともいつている碑です。この碑にはど
のような話があるのでしょうか。

この碑は、今から百九十年ほど前の三浦半島の地誌を
まとめ、江戸時代の郷土の様
子を知る上で貴重な『三浦古
尋録』を著わした(一八一二
年八月)加藤山寿(本名・勇
助、雄助ともある)が文化九
(一八一三)年九月に建立し
た、高さ六十cm程の碑です。
高坂小学校の下を吉井へ
向かっている道、浦賀道もし
くは鎌倉道と呼ばれる道を
行くと、御林に入る坂道の
手前、左奥(西浦賀三丁目十
六番地)に「天女水の碑」が
あります。昔、そこには弁天堂
があり、すぐ脇から清水が
湧き出ていたようですが、現
在は、道を少し入った道路の
下に、大型のコンクリート管
で引いて湧水を溜め井戸の形
をした場所に碑文を設置し
て残っています。碑には山寿
自身の筆による、『高坂の弁
天堂近くの田の間から清水
がこんこんと湧き出ており、
どんなに日照りが続こうと
決して涸れたことがないとい
われ、この水のおかげで田は



加藤山壽自筆の碑文

常に豊作となり、豊作にな
ると家が富み、家が富むと
幸福が訪れる。こうした幸福
をもたらしてくれるものは
天女が授けてくれたもので
あろうから、これを天女の水
と呼ぶ」と漢文で刻まれてい
ます。この付近は、今は宅地
となつていますが、三浦半島
特有の谷戸の田園地帯であ
り、天女水がこれらの田畑を
潤おしていたのでしょう。
また、この湧き水は浦賀港
へ注いでいます。港から常福
寺の下あたりまではこの流れ
を利用した運河で、唐船堀
と呼ばれ、流れの両側に建
ち並んでいた商家の土蔵へ港
から小さな船で荷物の上げ
下ろしをしていたそうです。
上流は田畑で利用され、下
流は商家の運送路として活
躍していた、浦賀の人々に与
えられた貴重な水です。ま
さに「天女水」で、このこと
も忘れず世の中が変わるう
い自然からの節理であり、恵
みの重要さを知り、後世に
伝えることの必要性を記し
た、まさに現在の地球環境
を憂慮したかのような山寿
の未来へのメッセージのよう
です。
貴重な著書『三浦古尋録』
は有名なですが、山寿の誕



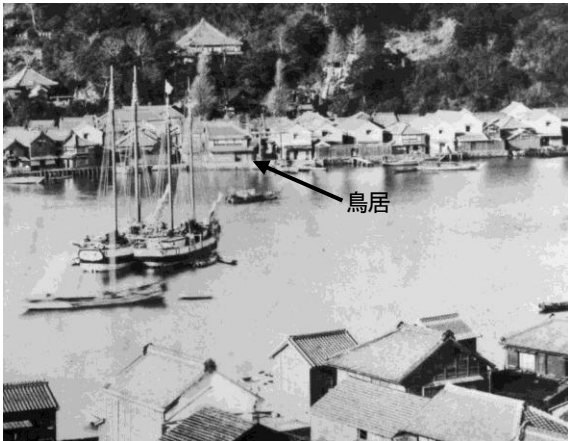
湧き出す清水と「天女水の碑」

生も、没年も、また、隠居し
た年も明らかではなく、墓碑
の確定もできない、とわから
ないことが多い人物です。し
かし、江戸時代後期、文化年
間(一八〇四〜一八一八)に
活躍した商人であり、文化
人であることは明らかです。
家系は、浦賀町の最後の町
長・加藤小兵衛氏へとつなが
っています。
商人・山寿は、西叶神社の
前で淡路屋小兵衛(淡小・淡
路)から移ってきた豪商とい
う名で、上方(関西)から来
る塩を中心に米穀、酒、日用
雑貨を扱う大きな廻船問屋
でしたが、一八〇五(文化
二)年秋に子の常五郎に家業
を譲つてしまいました。
文化人・山寿は、花水と呼

ばれた所(天女水の碑
の近く)に隠居所(千
恒亭)を造り、第二の
仕事、文筆活動をは
じめています。山寿が
著わした著作は、『西
国観音記』によると、
先の『三浦古尋録』の
ほか『漂客雜記』『東
海絵図』『東奥一覽』『源画易
解』とあります。表題から推
察すると、旅に出ることが
多く旅を愛し、自然を愛し、
学問や芸術の才能もあり、
文化に対しても関心が強かつ
た人といえます。山寿のほか
に、「子楽」とか「網外」とい
う号もつけています。
『三浦古尋録』は、三浦半
島の村々をくまなく歩き、
故事来歴を記録したもので
すが、記述は三浦半島にと
どどまらず、日本各地に残
る同じような事例、その背
景にも及び山寿の教養の深
さを知ることができます。
参考資料
ポンポン船五十号記念特集
浦賀公民館友の会
連絡協議会発行

うらがの寫眞館

—今も残る、塩蔵—



浦賀湊(東浦賀から西浦賀を一望)

東浦賀二丁目新井町法幢寺境内から、
対岸西浦賀を眺めたものである。
写真の正面に見える鳥居は西叶神社、鳥
居右側には蔵が写っている。その蔵の前には
舟を乗りつけることができる棧橋が見え
る。その建物が廻船問屋、淡路屋小兵衛
(淡小)の所有している蔵で、今は塩蔵の通
称で呼ばれている。その上方に見える屋根
は、曹洞宗延命山東福寺である。
海岸沿いに立ち並ぶ倉庫や港内の帆船の
様子から、時代は明治の末期から大正の初
め、関東大震災以前と思われる。手前の人
家は東浦賀二丁目洲崎町内のものである。

歴史講座開催予告

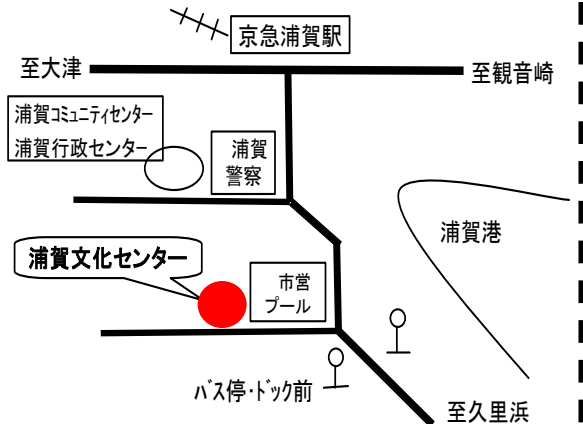
平成二十年度の歴史講座を
平成二十一年一月二十一
二十八、二月四、十一、十八
日(水)に開講を計画していま
す。詳細は、十一月二十五日
付けの広報よこすか「お知らせ
せ版」等でお知らせする予定
です。ご期待ください。

東西風

公民館をコミュニ
ティセンターと呼ぶ
ことに慣れました
か。この「浦賀文化」
を発行している浦
賀文化センターは
「郷土資料館」と呼ばれたり
して、その混乱度は職員以外
には、正式名称を言える人
を数えられるほどではないで
しょうか。この文章を書いて
いる私でさえ覚えないうら
さまで。
文化センターはオープン当
時、夜間も開館していました
ので、それなりに地域にとつ
ては貴重な施設でした。しか
し、経費削減を理由に夜間
の使用を中止していたのが、
コミュニティセンター分館の名
のもとに、開館当時に戻るこ
とができました。地域住民に
とっては有り難いことです。
しかし、使用できない施設と
いう折り紙はそう簡単には
はがれません。公共の施設は
利用があつてこそ、その価値
があるものです。わかりませ
よね!
(山本)

浦賀コミュニティセンター分館 (浦賀文化センター)

浦賀駅から浦賀通りを徒歩10分



所在地:横須賀市浦賀7-2-1
電話: 046-842-4121
FAX: 046-842-4121

浦賀の植物

カントウカンアオイ(カンアオイ)

ウマノスズクサ科

私の好きな花のひとつにカントウカンアオイがありま...



観葉植物としても人気のカントウカンアオイ



花びらのように見えるカントウカンアオイのガク

色で表面に多様な文様、白班又は白脈があり、花は十...

笑話一題

浦賀警察署の横を流れる蟹田川の下流を見ていたら、ハヤの様な魚とフグが泳いでいました。

浦賀警察署の横にある大衆帰本塚の碑によると、このあたりは昔、葦が生え水辺に蟹がいるような寂しい所だったようですが、其の頃には小魚も沢山いたのではないのでしょうか。

大前悦宏

神奈川県植物誌調査委員会

熟しても付いています。カンアオイの仲間は日本古来の園芸植物で、江戸時代鑑賞のため、各大名家で秘蔵の鉢物としてカントウカンア...

蔵書

事典・しらべる江戸時代

編集代表 林 英夫

青木 美智雄

発行 柏書房

「こんなことが解る」「こんな意味がある」を知る事ができる歴史研究の参考書。

新しい歴史像が湧きあがり、江戸時代と現代を結ぶ糸が見えてくる。歩き、調べ考えるヒント満載。

開国史話

加藤祐三著

発行 神奈川新聞社

アメリカの軍事的圧力に屈した、幕府の無能無策が不平等条約を締結せざるを得なかつたのか。軍事優先の時代に外交を通じ、新秩序を切り開き、新しい国際政治の創出に大きく寄与したことは事実である。

日米にとって初めての条約交渉に人々はいかに立ち向かつたのか。横浜を舞台に開国をめぐる熱い駆け引きが描かれている。

三浦按針とビスカイノ



歴史語りい座・浦賀

16

郷土史家 山本 詔一

ウィリアム・アダムスこと三浦按針が大分県臼杵に漂着したのが、慶長五年(一六〇〇)四月のこと。徳川家康に見出され、旗本身分にまでなり、横須賀市逸見に領地をもつたのは、慶長十年(一六〇五)ごろと思われる。

手奉行の向井忠勝他十数名も携わり、伊豆の伊東で建造された。この船の完成が慶長九年(一六〇四)ごろと思われ、その恩賞として逸見に領地をもらったと考えられる。このことは按針に日本へ永住することを決断させ、それにもなつて江戸の入り口にある浦賀を東日本で唯一の貿易港にする家康の外交政策の担い手となつたことを意味する。

翌十四年、按針はロドリゴに再会する。これはロドリゴが乗つた船が千葉県御宿沖で難破したためで、ロドリゴは家康から丁重なもてなしを受け、十五年には按針が建造した大型船を彼らのために提供し、田中勝介ら日本人二三人も乗り組んで、浦賀の港を出航した。



教会が建てられたといわれる東浦賀、法幢寺脇のシャグウジ通り